

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事案名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
農林水産省	(23) 備蓄米及びミニマム・アクセス米(MA米)の管理・販売コスト	本省	—	28,181	27,961	▲220	—
事案の概要	国(農林水産省)は、政府備蓄米及びミニマム・アクセス米(MA米)(以下両者を合わせて「政府所有米」という。)の管理及び販売に係る業務を実施しており、平成22年10月以降は業務の合理化・効率化を目的として、保管から販売までの業務を包括的に民間の事業者へ委託している。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 政府所有米の管理委託について

農林水産省は、事実上、取扱数量の均等配分となっている現行の包括委託の仕組みについて、より競争性が確保される制度設計とすべきである。

あわせて、応札者数の増加のための方策について検討すべきである。

2. 加工用途への販売について

農林水産省は、売買差損の縮小に貢献しうる加工用途への販売について、国内産米の需給にも配慮しつつ、少なくとも受託事業者に対して示している販売目安「2割」を達成するため、より実効性のある取組を行うべきである。

また、加工用に限らずとも、飼料用よりも有利な用途への販売を促すよう具体的な取組について検討すべきである。

3. カビ検査等に要する経費について

農林水産省は、販売する際のカビ毒分析について、安全性に留意しつつも、これまで蓄積された分析データを基にした科学的根拠を踏まえ、より合理的な検査手法の検討を行うべきである。

反映の内容等

1. 政府所有米の管理委託について

複数者落札による政府所有米の安定供給を確保しつつ、事実上3事業者で均等配分されている取扱数量について、より競争性が確保される仕組みの導入を検討している。

2. 加工用途への販売について

MA米の加工用途への販売については、MA米全体数量の2割を下回る状況を踏まえ、受託事業者による全国の実需者団体等からの需要動向の聴取や、農林水産省による受託事業者の販売計画の精査等を行い、国産米の需給にも配慮しつつ、関係者とも十分協議しながら、その新たな販売先について検討する。

3. カビ検査等に要する経費について

政府所有米の販売前のカビ毒分析については、蓄積された分析データ、カビ毒の毒性等の科学的根拠を踏まえ、安全性の確保を第一としつつ、合理的なカビ毒分析手法を導入する方向で検討する。